

## ● 「LEED for Cities and Communities」プラチナ認証取得について

札幌市では、2018年に内閣府から「SDGs 未来都市」として選定されるなど、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けてさまざまな取り組みを進めているところです。

また、近年は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の各分野への取り組みを判断基準とした投資が注目を集めており、これを評価するものとして、国際的に最も認知されている環境性能評価システム「LEED (Leadership in Energy and Environmental Design)」の認証を受ける都市や企業が国際的に広がりを見せています。

このような状況を踏まえて、札幌の街を世界基準で捉えるとともに、客観的な評価を活用したシティプロモートを展開するため、LEEDの認証システムのカテゴリの1つである「LEED for Cities and Communities」の登録申請を2019年9月に行い、このたび、最高ランクの「プラチナ」の認証を取得しました。同カテゴリの認証を取得するのは日本の都市では初となります。

今後は、LEED認証をシティプロモートに積極的に活用し、企業・MICEの誘致、冬季オリンピック・パラリンピックの招致等を進めてまいります。

### 1 LEED for Cities and Communitiesの認証について

#### (1) 認証日

2020年1月21日(火)

#### (2) 評価指標・認証理由

「エネルギー」「水」「廃棄物」「交通」「ひと」の5項目について、1人当たりの温室効果ガス排出量や生活用水使用量、廃棄物分別率等を基に評価される。

札幌市においては特に、1人当たりの温室効果ガス排出量や生活用水使用量が少ないことから、「エネルギー」や「水」の分野で高い評価を受けた。なお、認証は5年間有効で、毎年、点数やランクの再評価が行われる。

### 2 LEEDについて

1998年に米国グリーンビルディング協会が開発・運用する、国際的に最も認知されている環境性能評価システム。「建築設計・建設(BD+C)」「インテリア設計・建設(ID+C)」「既存ビル運用・メンテナンス(O+M)」「エリア開発(ND)」「住宅(HOMES)」「シティとコミュニティ(Cities and Communities)」の6つの認証システムのカテゴリが設けられている。

### 3 世界の認証件数等(2019年12月現在)

#### (1) LEED全体(住宅[HOMES]を除く)

アメリカ合衆国	36,587	トルコ	375	ポーランド	181
カナダ	692	ドイツ	371	台湾	163
中華人民共和国	1,861	スウェーデン	297	コロンビア	179
サウジアラビア	54	スペイン	388	韓国	160
インド	888	イタリア	286	日本	138
ブラジル	583	香港	210	合計	46,948※
メキシコ	436	チリ	213		
アラブ首長国連邦	252	フィンランド	214		

※その他の国2,420件を含む

(2) LEED for Cities and Communities の認証状況

ランク		認証数	都市例
プラチナ	80Points 以上	14	ワシントン DC (アメリカ)
ゴールド	60-79Points	6	サボナ (イタリア)
シルバー	50-59Points	6	アトランタ (アメリカ)
標準認証	40-49Points	74	
合計		100※	

※国別認証件数：アメリカ (95 件)、中国 (2 件)、イタリア (1 件)、UAE (1 件)、インド (1 件)

問い合わせ先

まちづくり政策局政策企画部企画課 成澤・田中

電話：211-2192、ファクス：218-5109